



**PROFILE**

会 社 名	但南建設株式会社
本 社 所 在 地	兵庫県朝来市山東町滝田148番地の1 〒669-5193 TEL079-676-3121
創 業	大正9年4月1日
法 人 設 立	昭和32年12月26日
営 業 種 目	土木・建築・鋼構造物・管・舗装・とび・ 土工・水道・造園・不動産取引業・ リサイクル・介護
許 可 番 号	建設業許可 国土交通大臣許可 第2 第4706号 一級建築士事務所登録 登録番号第01A00543号 宅地建物取引免許 兵庫県知事(11)第600019号 鉄骨加工工場 認定番号 TFBM-120367
資 本 金	50,000,000円
取 引 銀 行	但馬銀行 京都銀行 但馬信用金庫 三井住友銀行 京都北都信用金庫
所 属 団 体	社団法人 兵庫県建設業協会 財団法人 性能保証住宅登録機構 財団法人 建設業福祉共済団 社団法人 兵庫県宅地建物取引業協会 社団法人 兵庫県建築士事務所協会

**HISTORY**

大正9年 4月1日	衣川組創立
昭和32年 12月26日	但南建設株式会社に組織変更
昭和48年 10月1日	夜久野支店開設
昭和48年 10月1日	鉄工部開設
昭和49年 6月10日	一級建築士事務所開設
昭和50年 1月27日	香住出張所開設
昭和51年 11月1日	資材センター開設
昭和56年 3月26日	宅地建物取引業開設
昭和57年 12月6日	鉄工部建設省告示 第1103号認定工場登録
昭和58年 6月3日	香住出張所を香住営業所に変更登録
昭和59年 5月20日	本社社屋新築
昭和62年 12月1日	三田営業所開設
昭和63年 1月1日	福知山支店開設
平成 3年 4月1日	豊岡営業所開設
平成 7年 3月12日	鋼構物製作 Mグレード認定工場登録
平成 7年 8月10日	丹波営業所開設
平成11年 10月22日	ISO9001認証取得
平成16年 2月7日	養父営業所開設
平成16年 3月12日	ISO14001認証取得
平成16年 9月7日	南但リサイクルセンター開設
平成19年 3月28日	グループホームたんなん開設
平成26年 7月22日	デイサービスたんなん開設
令和2年 7月3日	大阪支店開設

**Tannan Construction Co.,Ltd.**

<b>但南建設株式会社本店</b>	〒669-5193 兵庫県朝来市山東町滝田148番地1 TEL079-676-3121
<b>福知山支店</b>	〒620-0066 京都府福知山市荒河12番地の38 TEL0773-23-9468
<b>大阪支店</b>	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2丁目14番4号 MF新大阪ビル7階0号室 TEL06-4867-3861
<b>丹波営業所</b>	〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治字大正町83番地の2 TEL0795-87-1938
<b>養父営業所</b>	〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿1581-1 TEL079-662-3122
<b>三田営業所</b>	〒669-1522 兵庫県三田市下田中宇向井560番地の4 TEL079-564-4105
<b>豊岡営業所</b>	〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町8番10号 TEL0796-22-1671
<b>香住営業所</b>	〒669-6545 兵庫県美方郡香美町香住区森329番地 TEL0796-36-1075
<b>夜久野鉄工所</b>	〒629-1311 京都府福知山市夜久野町日置871番地の1 TEL0773-37-0483
<b>資材センター</b>	〒669-5153 兵庫県朝来市山東町大月字峠1150 TEL079-676-3971
<b>南但リサイクルセンター</b>	〒669-5142 兵庫県朝来市山東町越田460番地の1 TEL079-670-7900
<b>ピースホーム事業部</b>	〒669-5193 兵庫県朝来市山東町滝田148番地2 TEL079-676-5088

**他府県、遠方からの入社も安心**



**社員寮完備**

家が遠方の方の為に、会社の近くに快適な社員寮を完備しています。

**入社案内**

未来の夢を叶えてくれる

Dreams Come True

Tannan Construction Co.,Ltd.



## Create a new landscape

環境に優しく、人に優しい…、  
新しい風景を創りだしてゆく。

“誠実は信用の源である”創業以来、私たちが大切に受け継いできた企業理念です。相手と誠実に向き合えば、やがて大きな信用が生まれる。この「相手」とは、決して工事を依頼してくださったお客様だけではなく、現場周辺の地域の方々、工事を共に請け負ってくださる業者の皆様。そして共に働く従業員の仲間たち。いつだって真剣に、真面目にやってきたからこそより良い商品・サービスが生まれてゆく——「お客様・地域の方々の夢を叶えたい。」ここ但南建設にも、先輩社員の誠意と熱意を受け継いだバイタリティー溢れる若者たちが活躍しています。今回は、各事業部4名の若手社員の活躍を覗いてみましょう。





社会に貢献できる  
技術者になるのが  
目標です。



土木

Civil  
engineering

Senior Voice

1



巨大な建築物を  
後世に残す醍醐味。

土木部 [平成27年入社]  
小田直史

入社当初はひとつの構造物がーから出来ていくスケールの大きさにただただ圧倒される毎日でしたが、現場管理として仕事をしていく中でだんだんと施工の流れが分かるようになってきました。しかし土木工事というのは天候に左右され、時には臨機応変な判断・対応をしていくことも求められます。まだまだ未熟ですが、積極的に上司や協力会社の方とコミュニケーションを取ることを心掛け、先輩方の知識や技能を吸収し、レベルアップして社会に貢献できる技術者になることが今の目標です。また、「土木は地図に残る仕事」とよく言いますが、完成して何年も後に自分の現場をめぐることができるのも醍醐味ですし、地域の方から「ありがとう」「綺麗なものができましたね」と言われたときはやりがいを感じ、誇りに思います。但南建設は国家資格だけでなく講習等の資格習得へのバックアップも充実していますので、自分のやる気次第でどんどんスキルが上がっていくのではないのでしょうか。皆さん、若い力で但馬の土木を盛り上げていきましょう!



まだまだ  
出来ることは  
限られますが  
やる気は誰にも  
負けません。



建築

Architecture

Senior Voice

2



地元のみなさんに  
感動を与える建物を  
造る喜び。



建築部 [平成28年入社]  
石橋智大

「地元の建設会社に就職したい。」そう考えていた時に出会ったのが但南建設でした。入社した理由は、公共・一般・住宅など幅広く工事を行っており、この会社に入れば建築に関する経験・知識が養われ成長できると感じたからです。現在は主に墨出しや施工状況の写真撮影、また現場の清掃・整頓など職人さんが作業しやすくする為の環境作りを行っています。入社して数年なので出来る事は限られていますが、「毎日勉強」と思い仕事しています。今後の目標は多様な工事を通して経験・知識を身に付け、一級建築士や一級建築施工管理技士など様々な資格を取る事です。そしてお客様に感謝され、感動を与えられる建物を作っていきたいと思っています。就活生のみなさん、就活は楽しんでる者勝ちです!「今日はネクタイこれにしよう」とか、「せっかく面接の為に遠くまで来たからこの町を知る為に観光しよう」とか、これは面接官の雰囲気にもよりますがウケを狙うとか、何か楽しみを作れば少し気持ちが楽になり、面接でもいつもの自分が出せ、自然と会話が盛り上がると思います。頑張ってください!





Senior Voice

3

ご家族の夢を叶える  
お手伝いがしたい。

ピースホーム事業部 [平成23年入社]  
中川 満智

元々朝来市に全く縁がなかったのですが、「ひとつひとつの家族の夢を叶えるお手伝いがしたい。」そんな私にとって家づくりの考え方や先輩社員の方の気さくな雰囲気的魅力で入社しました。現在の仕事は主に図面作成です。着工前になると各所へ確認申請、工事完了後には報告や保証書作成も行うほか、イベントの手伝いや広告作りなどの広報業務にも携わっています。社内は意見が言やすく、徐々に自分の判断で仕事を進めていく機会も増えました。住宅業界は今後“住宅の省エネルギー化”が加速していく動きにあります。ゼロ・エネルギーハウス(ZEH住宅)や省エネリノベーションのさらなる促進を目指す当社の家づくりをもっとたくさんの方に知ってもらいたい、そのために広報活動をより積極的に行いたいです。建設業はマニュアルだけでは答えの出ないことも多く、ひとつひとつの経験や社内の先輩方、会社に関わる業者さんたちに支えられ日々成長しているような気がします。就活生のみなさん、学生の間に様々なことを経験してくださいね。



Senior Voice

4

いろいろな人が  
気軽に立ち寄れる  
施設を目指して  
います。



福祉事業部 [平成24年入社]  
松本 深雪

私は入居者さんと距離が近く、楽しく仕事ができそうだと感じて小規模の施設を探していました。就職活動で現場体験をした時に、ある入居者さんから食事の作り方を教えてもらいました。そのことが入社へのきっかけの一つとなりました。実際に入社すると小さい施設ならではのゆったりした時間が流れていました。介護の仕事はおむつ交換をするイメージでしたが、実際に仕事をするとう入居者さんの生活全体が幅広く関わっていることや、頭を使う場面が沢山あることがわかりました。普段、私は入居者さんに生きる意欲を持ち続けてもらうことを意識しています。それを実現するには人と人とのつながりがとても大事だと思っています。入居者さんの生活は家族や医療関係者をはじめ色々な職種が共働き、一つのチームとなって支えられていて情報共有や連携が必要です。私は専門職としての知識や感受性を高めていく努力を日々しています。わからない事は入居者さんか先輩に聞けば大丈夫です。私も真剣に考えるのでぜひ聞いてください。一緒に良いチームを作り、日本一と言われるようなグループホームにしましょう。

